



廣峯神社崇敬 蘇民将来子孫の会

そみんしょうらい

入会の御案内

廣峯神社は、天平6年（734）、聖武天皇の勅命が下り、吉備真備公が創建。明治に至るまで皇室国家の勅願所として崇敬されると共に、播磨国はもちろん、西日本一円の人々から篤く信仰された神社です。ご祭神の素戔鳴尊は、天照大御神の弟神、日本の総産土の地主神であり、陰陽道では牛頭天王、武塔神、仏教では薬師如来と称し、日本の国家国民を守護されています。蘇民将来とは、本殿西側の地養社に鎮座する疫病退散の神様で、素戔鳴尊と深い関わりがあります。

蘇民将来子孫の会は、素戔鳴尊を信仰する崇敬会です。名称の由来は、尊が南海を旅されたとき、貧しいながらも尊をお助けし、おもてなしたことで蘇民将来は疫病から救われ、その子孫までが尊より守護されると約束されたという神話を元としています。

当会は、国の重要な文化財でもあります廣峯神社の保護・修繕、また、これまで大切にされてきました伝統文化を次世代に継承して行くことに寄与、協力してまいります。

<年間会費>

個人会員様	1口	5,000円/年
法人会員様	1口	20,000円/年
特別会員様	1口	100,000円/年

<会費を銀行振込で納める場合、下記の銀行をご利用下さい>

播州信用金庫 駅前支店 名義人ヒロミネジンジャ 口座番号 6513971-020

<ご入会をご希望される皆様へ>

神社に来社されるか、お電話又はメールでお問合せ下さい。お申し込み書をお渡ししますのでご記入の上、郵送又はご持参下さい。会費納入方法は、直接入金、銀行振込をご利用下さい。

<お問合せ先> 廣峯神社崇敬 蘇民将来子孫の会事務局 姫路市広嶺山52 廣峯神社内

電話：079(288)4777 メール：somin@hiromine-j.jp

事務局長：曲渕克昌（廣峯神社祭務部長）

そみんしょうらい

蘇民将来子孫の会について

<主な活動内容>

廣峯神社のお祭りや行事等に関する祭礼事業、並びに境内整備等に関する奉賛事業を執り行って参ります。

「祭礼事業とは」

1. 年間を通じて齋行されます廣峯神社の例祭、大祭、中祭、小祭などの祭典に必要な祭器具や祭礼衣裳、備品等の保守・保全に係わる支援事業。
2. 現在は廃れてしまっていますが、太古の昔より執り行われていた伝統ある祭典を再興・再現するための復興支援事業。
3. 地域、国家の安寧と発展を祈願する祭典へ協力するための支援事業。

「奉賛事業とは」

1. 国、県、市それぞれから指定されています、本殿・拝殿、摂末社等の文化財に関する保守・保全の支援事業。
2. 崇敬者を始め、参拝者を受け入れるための各施設並びに参道、駐車場等に関する境内整備の支援事業。
3. 上記以外の御社、新規御社、施設、祭礼具等に関する支援事業。

<会員待遇>

1. 年末に新年用の廣峯神社の御札、伊勢神宮の御札を授与します。
2. 個人会員様の誕生月の朔日に賀寿祭を齋行、記念品を授与します。
3. 法人会員様の創立記念月の朔日に事業繁栄祈願祭を齋行、記念品を授与します。
4. 特別会員様にはお年始に新春特別祈願祭を齋行、記念品を授与します。
5. 年間を通じてご参拝の際には、昇殿拝礼いただきます。
6. 年間の祭礼・行事等の御案内、また、子孫の会の会報を年1回送付します。
7. 御会所等の施設利用料を割引します。

<現在進行中の支援事業>

1. 官兵衛社建立支援事業

本殿北側の地に、黒田官兵衛をご祭神とする神社を建立します。

2. 御幸神事の復活支援事業

大神輿の修復並びに整備事業を進めています。